

# とほ市議会だより



写真上が「Aチーム」、下が「Bチーム」です。議会全員(16名)が2班に分かれて『議会報告会&意見交換会』に市内18ヶ所の地区を回りました。ご参加いただきありがとうございました。

# 第3回 定例会 (9月7日～10月2日)

## 一般質問

年4回の定例会と臨時会の本会議を録画放送

### 安楽島保育所の今後の予定は

市長

建て替えの方が有利である

鳥羽市の行政改革の取

り組みとして鏡浦の保育所を一つにしたり、鳥羽保育所と池上保育所をおぞら保育所に統合してきましたが、今後の計画はどの様になっていますか。

っていますか。

**健康福祉課長** 坂手、船津、安楽島が終了しており、その中で安楽島だけが耐震性能を有していません。また、相差や鏡浦等これまでに名前の挙がっていない保育所は耐震性能を有している新建築基準で建設されています。安楽島保育所を耐震補強すれば約1億7000万円程度必要と試算されています。

方が良いと思いますし、もし新築するならば時期はいつ頃になると考えていますか。

**市長** 新築の方が有利だと思うので、新築で検討したい。時期としては建て替えとの方向が決定したら平成23年度か24年度が良いと考えています。

育所を統合していく事になっており、耐震診断は今年度菅島を、次年度に神島を予定しています。

それではこれまでに耐震診断をおこなった保育所と、診断結果はどうな

りますか。

それだけの金額が必要なら耐震補強より新築の



野村保夫



安楽島保育所

# 農業振興策の第四次総検証は

## 市長 ファーマーズマーケットを検討

本市の農業所得の税務

申告額はどれだけですか。

**税務課長** 農業者の個人

申告は336件、農業所

得申告額はマイナス28

66万円です。

農林業と観光との調和

をどう推進しますか。

**観光課長** 鳥羽の野菜で

朝食のサラダや漬物を提

供するモデル的取り組み

を手がけてみたい。

学校教育での食育、給

食の地元農産物使用は。

**教育長** 玉葱、じゃがい

も、大根、人参などを新

たに使用したい。

総務省の「集落支援事

業」の活用は。

**企画財政課長** 本市も適

用できます。検討します。

鳥獣被害が増大し、耕

作放棄も生れています。

有害駆除は猟友会への委

託料50万円のみです。し

かし志摩市では委託料71

万円と報奨金81万円。南

伊勢町は合わせて565

万円。本市は防護柵対策

も弱い。抜本的強化が必

要では。

**農水商工課長** 今後、力

を入れていきたい。

農業研修参加者や加茂

にできた産直販売所。こ

れら新しい芽に積極支援

すべきでは。

**農水商工課長** 今後は積

極的な支援をしたい。

**市長** 売れば作り手は

増える。市としてファ

ーズマーケットの整備

を検討したい。



戸上幸子



野菜づくりで農業振興

## 少子化対策と子育て支援は

### 市長 2期目の最重要課題である

市長2期目の筆頭公約を「子育て支援」においていますが、「子どもを生き、育てやすい環境づくり」についてどのような施策を実施していきま

すか。

**市長** 子どもを持つことに関わる問題は、国の支援策の動向にも沿いながら、子育てを行政の支援のみならず地域や社会で支えなければならぬという視点で支援策を講じ、「とばっこⅡ」を策定し「子育てを親や保護者だけに任せず、地域全体で支える」ことをコンセプトに、子育て環境づくりに努めてまいりたい。

## 地方分権と基礎自治体のあり方は

### 行革室長 住民参加で自己決定、自己責任

地方分権一括法が施行されて以来、国から地方への関与は必要最小限のものとし、地方としての基礎自治体は、今後自己決定・自己責任の改革理念に基づいた住民自治制度を展開し、自治体力が試される厳しい時代になります。国・県からの権限委譲に対応するため基礎自治体としての「制度設計」について問います。

**行政改革室長** 行政改革室を中心にワーキンググループを立ち上げ、県担当者との協議を進めております。今こそ、基礎自治体としての鳥羽市の独自性を発揮し、この分権時代を乗り越えていかなければならないと思っております。



坂倉紀男

# 新副市長の役割分担は

## 副市長 各課の指揮監督を強化します

本年4月の副市長就任について、次の点をききます。

現役職員からの登用理由は何ですか。

**市長** 多岐にわたる知識や経験が豊富であるところです。

**副市長** 自身は、この重責を遂行するにあたっての進め方どう考えていますか。また、市役所内の現場の声、各町内の住民の声を重点的に聞くべきだと思いますが、どう考えていますか。



村山 俊幸

声を重視しつつ、積極的な政治判断を行います。

民主党政権交代による本市の対応を検討しましたか。

**副市長** 8月末の課長会議で、各課長に政党マニフェストを読み込み、それについての感想、意見を報告するよう指示しました。

**副市長**が職員退職時に受け取る退職手当について、勧奨退職分による増額支給は何故なのでしょう。当時、財政課長であり、本市の財政状況のひっ迫は何分理解しているなか、

また、一般職の希望退職制度も停止された現状において、十二分に検討されたのですか。

**市長** 自己都合の退職でないということ、退職金条例第5条により、勧奨退職制度を採用し、事務的に執行しました。

## 災害要援護者の避難対策や計画は

### 健康福祉課長 計画の作成を進めます

今夏、台風9号に伴う豪雨が日本各地を襲いました。豪雨被害で高齢者には雨音で防災無線が聞こえない、老夫婦だけで避難所へ避難できない事態等がありました。本市の災害時要援護者避難対策や計画の考えは。

**健康福祉課長** 全国各地の地震や風水害の発災状況を判断しますと、高齢者、障がい者、乳幼児等の災害時要援護者避難対策は早急に取組まねばならない課題です。発災時に自身で情報収集や安全な場所へ避難が困難で、第三者の支援が必要と思われる方を把握し、支援が行える様要援護者台帳の整備が急務と考えます。



坂倉 広子

## 新型インフルエンザの行動計画は

### 健康福祉課副参事 感染症等全般の対応へ組織化検討

国は新型インフルエンザの本格的な流行を宣言し、全国的に感染が広がり誰もが重症化の恐れがあると警戒しています。高齢者や妊婦、乳幼児等ハイリスク者への対応が課題ですが、本市の考えは。また、国県、医療機関との情報共有、連携体制は。

**健康福祉課副参事** ワクチン確保は、国が実施主体で医療機関と直接委託契約を結んで希望する対象者に接種を行います。本市の対象者は1万1476人と推定しています。国からの情報は県経由で、随時電子メールで連絡が入ります。伊勢保健所が中心となり、新型インフルエンザ対策機関会議を設置しています。



感染症対策グッズ

## 南鳥羽地域に延長保育の考えは

市長 その必要性を検討していきたい



松井 一 弥

平成22年度当初より国崎保育所が相差保育所に統合される予定と聞いています。そこで、その統合に伴う国崎地区の児童の送迎時間を考えますと、延長保育あるいは長時間保育を南鳥羽地域で実施する必要がありますと思いますが、市長の考えはどうですか。

**市長** 延長保育、長時間保育を南鳥羽地域で実施できないかということですが、今後、国崎地区の皆さんと統合へ向けての具体的な話をさせて頂く予定です。保護者の就労形態や家族形態、地域からのニーズ量などをお伺いし、その必要性を検討していきたいと考えています。

## 神島開発総合センターの整備は

市長 町民の意見を聞いて判断します

**神島開発総合センター** にエレベーターを設置し、2階3階の施設を高齢者にも利用しやすいようにできませんか。

**副市長** エレベーターの設置場所は部屋の構造や配置等から、1階階段側の診療所部分のところに設置するのが最良と判断していますが、今後、関係部署間で協議していく必要がありますものと考えています。

## 児童・生徒の対策を十分に

教育長 授業時数不足は補習を組みます

新型インフルエンザの感染拡大が懸念されていますが、次の対策について考えます。

- ① 保育所、幼稚園、小中学校での児童生徒に対する対策について
- ② 高齢者等に対する移送サービスについて

### 健康福祉課長

① 両親が共働きなど、家庭保育を行うことが困難な場合は、休所中、あるいは登所の自粛中においても児童の健康状態、感染に十分注意をしながら保育を実施します。また、保育料は減免措置をとります。

**教育長** ①幼稚園については感染が疑われる利用者では、感染拡大が懸念される場合には、休園措置をとるようになります。学校の臨時休業や出席停止により、自宅待機の児童・生徒へは家庭学習の指示をしており、学校に復帰後は学習指導等を個別に支援をしています。また、年間の授業時数を見通したうえで、不足する可能性のある学年、あるいは学校については、長期の休業中にその補習を組む予定です。

### 健康福祉課長

② 新型インフルエンザの感染また



寺本 春 夫

# 議案質疑

6人が質疑

寺本春夫

桃取コミュニティセンターの活用は

教委総務課長 郷土文化の継承や交流の場

建築面積と施設内の機能をききます。

**教委総務課長** 鉄骨平屋建てで、建築面積は484㎡であり、他に連絡所32、2㎡です。交流ホール、調理室、郷土資料展示コーナー、多目的トイレ等の機能を備えていきたいと考えております。

施設の活用計画は。

**教委総務課長** 島内の祭り等郷土文化の継承や島民の交流の場として、また離島の生活や文化を観光客が体験できる拠点とします。また遺跡や歴史資料の展示を行い、離島の歴史、文化の保存・継承及び離島文化を広く紹介する場として予定しています。その他、市役所の連絡所も併設します。

浜口一利

ふるさと雇用再生事業の目的は

観光課長 離島の活性化の活動を支援します

どんな団体に委託しますか。商品とは。

**観光課長** 島民が中心となり離島の活性化を目的に活動し、集客交流の新たな魅力創りに取組んでいる組織に委託して、神島における定着した旅行商品の開発を目指します。

消防施設・医療施設整備・医師住宅・簡易水道設備改良事業・桃取コミュニティセンターが記されていますが、どんな観点から辺地の総合計画に至ったのですか。

**企画財政課長** 償還金に要する経費は地方交付税に算定される辺地債を利用でき、整備計画は3年毎に見直し提出するため、平成21年度～23年度までの計画策定を行いました。

村山俊幸

電子申告制度はいつから

税務課長 来年4月から稼働です

税務課所管の電子申告制度の詳細と、伊勢市、志摩市は既に導入しているのに、本市はなぜ今なのですか。この制度はいつから適用されるのですか。

**税務課長** 地方税の申告等の手続きをインターネットを利用して、電子で行なうシステムです。導入時期につきましては、年度内にも稼働できると考えていましたが、運営組織であります社団法人地方税電子化協議会にエントリーし、稼働する迄の期間が約半年を要するとの情報を6月時点で知り、今議会の補正計上となりました。これからエントリーとなりますと、来年4月からの稼働となります。

坂倉広子

女性特有のがん検診推進事業とは

健康福祉課副参事 検診バスの回数を増やし対応

乳がん、子宮がん検診の対象者数は。

**健康福祉課副参事** 乳がん検診対象年齢が40歳、45歳、50歳、55歳、60歳で約800人です。子宮頸がん検診対象年齢が20歳、25歳、30歳、35歳、40歳で約600人です。

無料クーポン券、検診手帳の発送は。

**健康福祉課副参事** 10月初旬に個別郵送します。

医療機関、受診方法は。

**健康福祉課副参事** 検診バス、伊勢市、志摩市の医療機関で個別に受診します。

坂倉紀男

### 高齢林間伐・討伐はなぜ行うのか

農水商工課長 美しい森林基盤整備の一環である

豊かな海は、徹底整備された森林が大きな役割を占めていることは、今では通説です。その方向からも、森林行政における基礎自治体の役割は非常に大きくなってきますが、高齢林間伐はなぜ行うのですか。

**農水商工課長** この事業は河内町七石が対象地区となります。「美しい森林づくり基盤整備交付金」の一環で、これは地域に密着した基礎自治体である市町が直接森林所有者に働きかけ事業展開を行うという積極的かつ柔軟な森林助成であります。その方向からも基礎自治体の担当課としての役割は非常に大きくなってくると思います。

戸上幸子

### 国保会計の赤字の要因はなにか

市民課長 税率改正、繰入金削減など

税率改正による今決算までの市民への引き下げ貢献額はどれだけですか。

**市民課長** 1億6724万円です。

市の行革によって一般会計から国保財政への繰入金、国の地方交付税基準よりカットされました。その額は。

**行政改革室長** 平成17年度3816万円、18年度3252万円、19年度3999万円、20年度8174万円です。

総額1億9292万円にもなり、国保財政に厳しい影響を与えました。国保財政が健全化した今、もとに戻すべきではないのですか。

**企画財政課長** 今後、検討します。

### 「辺地の総合整備計画は、対象地域に情報提供を」

## 総務民生委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

(議案第62号 平成21年度鳥羽市一般会計補正予算(第3号))

**問** 現年課税分が減額になっているが、法人税の分析は行なっているのか。

**答** 状況について、大手事業所に問い合わせしたり、会計事務所を通じてその他の事業所について聞いている。収益が出ていないので、均等割りのみの課税になっている。

このことから今回減額補正となった。

**問** 鳥羽の産業の底上げの議論をしてもらいたい。

そのような場を考えているのか。

**答** 所管課から、まず、危機感を持って報告してもらい、課長会議等で共有することが大事である。

今後は、全体として意識しながら進めていかなければならないと思う。

**問** 離職者であつて就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者又は喪失の恐れのある者に対して、当該課は住宅手当を使つてもらうためにどのような方法を考へているのか。

**答** ハローワークでチラシ等を発行し、情報提供している。市としても情報提供などで対象者の把握に努めていきたい。

(議案第66号 鳥羽市辺地の総合整備計画書の策定について)

**問** 辺地地域の対象地区はどこなのか。また、辺地地域の町内会を全部集めて説明会をしても良いのではないか。

**答** 対象地区は、神島町、答志町、菅島町、桃取町、千賀町、堅子町である。今後は、自治会連合会を通して情報提供を行なつて

いきたい。

他に対象地区については調査等を行なつていただき、総合整備計画書の策定に配慮してもらいたいとの要望があつた。

### 「議会基本条例制定に向けて」

次のとおり行政視察を行いました。

視察日 10月13日～14日

視察先 京都府京丹後市(議会基本条例・まちづくり基本条例について)

参加者 総務民生委員会委員7名、議会議務局長、次長



総務民生委員会視察

# 「残土の処分方法について反対」

## 文教産業委員会

審査の主な内容は、次  
路を拡幅したうえで再度  
石積みを行うものです。

（平成21年度鳥羽市一般  
会計補正予算（第3号）  
67号（第二伊勢道路ト  
ンネル工事に伴う有害物  
質を含む残土の町外処理  
等を求める意見書の提出  
を求める請願）

問 関係団体が大型の燃  
料タンクを離島に整備す  
るということであるが、  
燃料はどこで購入するの  
か。

答 完成後は市内だけで  
なく、市外からも購入す  
ることもあるのではない  
のか。

（歳出・教育費）

問 桃取コミュニティ施  
設建設に合わせて、建物  
横の道路を約50cm拡幅す  
ることであるが、何  
のために行うのですか。  
答 道路脇の石積みが不  
安定な状態であり、また、  
緊急車両が通ることがで  
きるようになるため、道

とであるが、どのような  
内容であったのか。

答 勉強会に行政は参加  
しておらず、後日聞いた  
内容によると、大学教授  
より残土に含まれている  
物質等の詳細について、  
数値的にも問題はないも  
のであるという説明がさ  
れたとのことでした。

視察日 7月9日～10日  
視察先 神奈川県横須賀  
市（事業系ごみについて  
及び2市1町ごみ処理広  
域化協議会から葉山町が  
脱退したことによる損害  
賠償請求事件の提訴につ  
いて）、横浜市（横浜開  
国博Y150について）

（文教産業委員会視察）  
文教産業委員会では、次  
のとおり行政視察を行  
いました。



台風18号によるカキ筏被害を調査  
（文教産業委員会）

## 決算特別委員会

問 9月に地元町内会が  
独自で大学教授を呼んで  
勉強会を実施したとのこ

本市議会では、次年度

予算に議会の意見を反映  
させるには、9月議会で  
審査を行う必要があると  
のことから、監査委員及  
び執行部の協力を得て昨

年の9月定例会から、監  
査委員を除く全議員が決  
算特別委員として、審査  
を行うことになりました。

審査は、一般会計、特

別会計及び水道事業会計  
の順に、審査日数4日間  
をかけ、慎重に審査を行  
いました。

審査結果については、  
特別委員会に付託された  
次の2件を認定すること  
で審査を終えました。

### 記

認定第1号 平成20年度

鳥羽市一般会計及び各特  
別会計歳入歳出決算認定  
について

（審査した特別会計）  
・ 国民健康保険事業特別  
会計

・ 介護保険事業特別会計  
・ 定期航路事業特別会計  
・ 特定環境保全公共下水  
道事業特別会計

・ 福祉資金貸付事業特別  
会計

・ 住宅新築資金等貸付事  
業特別会計  
・ 老人保健医療特別会計  
・ 後期高齢者医療特別会  
計

認定第2号 平成20年度  
鳥羽市水道事業会計決算  
認定について

## 討 論

戸上幸子議員

《 反 対 》

○認定第1号 平成20年  
度一般会計及び各特別会  
計歳入歳出決算認定につ  
いて

## 人 事

教育委員会委員任命に同

意

関 戸 くみ子 氏  
（鳥羽2丁目）（再任）

公平委員会委員選任に同

意

大 川 千恵美 氏  
（鳥羽2丁目）（再任）

人権擁護委員の推薦に同

意

加 藤 周一 氏  
（池上町）（再任）

西 井 富子 氏  
（屋内町）（再任）

井 村 行夫 氏  
（鳥羽2丁目）（新任）



# 請 願

# 意見書

《 採 択 》

次の意見書を国会及び

〇 「義務教育費国庫負担 関係行政庁へ送付しまし 制度の存続と、負担率 2分の1への復元」を 求める請願

〇 「義務教育費国庫負担 制度の存続と、負担率 2分の1への復元」を 求める意見書

〇 「30人学級を柱にした 義務教育諸学校および 高等学校次期定数改善 計画の策定、教育予算 拡充」を求める請願

〇 「30人学級を柱にした 義務教育諸学校および 高等学校次期定数改善 計画の策定、教育予算 拡充」を求める意見書

〇 「保護者負担の軽減と 就学・修学支援に関わ る制度の拡充」を求め る請願

〇 「保護者負担の軽減と 就学・修学支援に関わ る制度の拡充」を求め る意見書

〇 一般国道167号(第二 伊勢道路)トンネル工事 に伴う有害物質を含む 残土の町外処理等を求 める意見書の提出を求 める請願

〇 一般国道167号(第二 伊勢道路)トンネル工事 に伴う有害物質を含む 残土の町外処理等を求 める意見書

〇 一般国道167号(第二 伊勢道路)トンネル工事 に伴う有害物質を含む 残土の町外処理等を求 める意見書

〇 一般国道167号(第二 伊勢道路)トンネル工事 に伴う有害物質を含む 残土の町外処理等を求 める意見書

# 追跡 あれはどうなったん？



Q 昨年4月の市議会だよりの表紙に載った城山の整備はその後どうなりましたか？



A 国道側から“魅せる”ことを意識したデザインのもと、老朽化して危険な階段も合せて修復しています。完成後には石垣のライトアップをして風情ある夜の城山を演出します。工事の総額は7,700万円で来年3月完成予定です。

## ■完成イメージスケッチ



石垣が七段姿を見せました

※この施設の名前については、工事の進捗とともに完成イメージを更に深めながら、市民協議会で議論し決定する予定です。

# この議会で審議した案件と結果

	件名	
議案第62号	平成21年度鳥羽市一般会計補正予算(第3号)	可決
議案第63号	平成21年度鳥羽市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第64号	平成21年度鳥羽市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第65号	鳥羽市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	可決
議案第66号	鳥羽市辺地の総合整備計画書の策定について	可決
議案第67号	財産の取得について	可決
議案第68号	鳥羽市道路線の認定について	可決
議案第69号	教育委員会委員の任命について	同意
議案第70号	公平委員会委員の選任について	同意
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意
諮問第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意
諮問第5号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意
認定第1号	平成20年度鳥羽市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第2号	平成20年度鳥羽市水道事業会計決算認定について	認定
請願第1号	「義務教育費国庫負担制度の存続と、負担率2分の1への復元」を求める請願	採択
請願第2号	「30人学級を柱にした義務教育諸学校および高等学校次期定数改善計画の策定、教育予算拡充」を求める請願	採択
請願第3号	「保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充」を求める請願	採択
請願第4号	一般国道167号(第二伊勢道路)トンネル工事に伴う有害物質を含む残土の町外処理等を求める意見書の提出を求める請願	採択
発議第5号	「義務教育費国庫負担制度の存続と、負担率2分の1への復元」を求める意見書の提出について	可決
発議第6号	「30人学級を柱にした義務教育諸学校および高等学校次期定数改善計画の策定、教育予算拡充」を求める意見書の提出について	可決
発議第7号	「保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充」を求める意見書の提出について	可決
発議第8号	一般国道167号(第二伊勢道路)トンネル工事に伴う有害物質を含む残土の町外処理等を求める意見書の提出について	可決

## 編集後記

市議会だより第129号をお届け致します。本号は、9月定例会で一般質問・質疑の内容を中心に掲載しています。特に今議会は平成20年度の一般会計、各特別会計及び水道事業会計の「決算認定」があり、昨年度から議員全員(監査委員を除く)による「決算特別委員会」を設置し、4日間にわたる審査を行いました。

議員全員による決算委員会は2年目ということとで予算の執行状況等の共通認識もでき、議会のチェック機能も高まってきたような気がします。

なお、市民の皆様にも読んでほしい「議会だより」をということで、一般質問・質疑の原稿は字数を制限し、議員自らが書くなど、工夫しながら編集してありますが、「議会だより」、また「議会放映」等を見られてのお気づき点、ご意見等がございましたら、ぜひ議会だより編集委員会(鳥羽市議会事務局まで)お寄せください。

◎鳥羽市議会事務局  
電話 (25)1206  
FAX(25)1215

「とば市議会だより」編集委員会

委員長 山本 泰秋  
副委員長 戸上 幸子  
委員 松井 一弥  
委員 木下 爲一  
委員 坂倉 広子  
委員 木下 順一  
委員 竹内 久  
委員 中村欣一郎

年賀状の自粛  
申し合わせについて  
鳥羽市議会

市議会では、「市議会議員」としての年賀状を自粛することを申し合わせしておりますので、市民の皆様の御理解をお願いいたします。